



みぞれまじりの雨の降る休日、点けっぱなしのテレビで沖縄の離島を旅する番組が放映されていた。

こんな綺麗な海を、クルージングして島々を巡ることが出来たら楽しいだろうなー！！  
ヨット関係の雑誌などを見ている、沖縄をクルージングする記事はあまり見かけないけど、本島や離島にはヨットが入れる港があまり無いのかな？

それとも、入れる港は有っても、受け入れてもらえないのかな？

そこら辺のクルージング事情に、興味を持ちつつネットで、沖縄行きの激安航空券を、何となく検索してみると、この時期は意外に安い！ 名古屋～那覇往復+那覇1泊付きで3万円でした。

本当にこんな値段で買えるのかな～？、とりあえずこのホームページの旅行社に電話を入れてみると、後残りわずか、14日前までの予約が必要なので、本日中の入金で条件との回答が帰ってきた、う～～んわかりました、それじゃー1週間の滞在で予約お願いします。って言ってしまいカード決済で、航空券購入完了。

予定外の沖縄クルージング事情視察旅行が決定した。

14日後に出発の沖縄視察の為に計画を立てるべく、ネットで色々と調べて行くと、石垣島や竹富島などの先島諸島は、本島から距離があるので、今回は本島、離島間の移動は船でと決めたので、無理！

半日位の船旅で行ける島を物色すると、久米島と栗国島がヒットしたので、この2島に決定した。

#### 行程

- (1日目) 14:50 セントレア発 >> 17:50 那覇着 (那覇泊)
- (2日目) 09:55 那覇泊港発 >> 11:55 栗国島着 (栗国島泊)
- (3日目) 14:10 栗国島発 >> 16:10 那覇泊港着 (那覇泊)
- (4日目) 08:30 那覇泊港発 >> 12:30 久米島着 (久米島泊)
- (5日目) 移動なし (久米島泊)
- (6日目) 08:30 久米島発 >> 12:30 那覇泊港着 (那覇泊)
- (7日目) 11:55 那覇発 >> 13:50 セントレア着

行程が決まったので、今度は宿屋の確保です。

那覇泊の前2泊は移動に便利な港の近くに、最終日は空港へのアクセスを考えて、ゆいレ

ール（沖縄唯一車以外の交通機関モノレール）の駅の近くのホテルに難なく決定、どちらのホテルも新築でぴかぴかなのに、1泊6千円前後と安い。

島での1泊目は、粟国島の民宿あぐにをとりました。

1泊3食で、5千円だと言われる、2食付きだと4千500円だけど、その場合はお昼ご飯は抜きになりますのことに、まー普通に1泊2食と言えば、朝夕だわなと思いそれで良いですと答えると、おなか空くよ大丈夫かと聞かれる、どうも要領を得ずよく聞いて見ると、この時期は、食堂は開いていないとの事、そう言うことだったのかと、3食付きでお願いした。

久米島での宿は、民宿黒潮で、沖縄でもっとも綺麗なビーチ〔イーフビーチ〕のすぐ前の民宿、ここは普通に1泊2食で5千500円、2泊お願いした。

### 《1日目》

午後の便でセントレアを飛び立ち、夕方那覇空港に到着、モノレールと徒歩で泊港のターミナルビル真横の（ホテルオランジュール沖縄）到着、早々食事に出ることにするが、空港と機内でビールを結構頂いたので、町に繰り出すのは止めて、ホテルの裏手に見つけた船員会館の食堂での夕食にした。

ゴーヤチャンプルとキビナゴの天ぷらとビールの夕食、キビナゴの天ぷらが美味しかったな、生中200円もうれしかったな、食後ホテルに戻ってシャワーを浴びてビールを飲んで就寝、沖縄の1晩目は終わる。

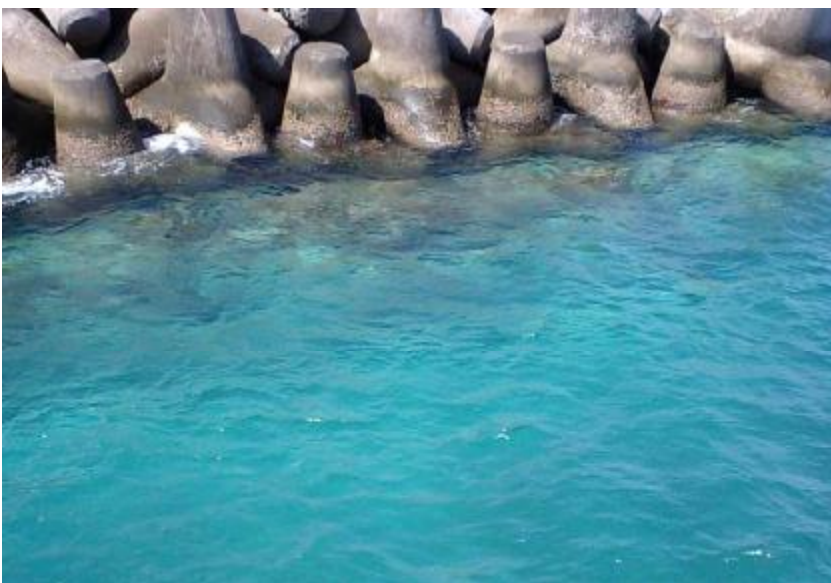
### 《2日目》

7時起床、泊漁港までジョギングをして、部屋に戻ってシャワー、ビール！ 荷造りをして港へ行き、粟国島（あぐにじま）行きフェリー450トンに乗り込む。

小さなフェリーなので、結構揺れました。後部のオープンデッキには、まぐろ男女が数人できあがっていました。

私は、約2時間の船旅をビール片手に堪能しました。

お昼少し前、粟国港に入港。



港の中でも、こんなに綺麗な海水でした。

このフェリーが入る港は、奥の方に漁船も居ましたが、比較的空いていて、水深も有りそうなので、ヨットでも入れそうな感じでした。

後で、民宿の人に聞いたら、ヨットは入って来たこと無いなーって言っていました。

港まで、宿の軽自動車が迎えに来てくれていたので、



それに乗って宿へ向かう、坂を登って3分くらいで到着、部屋に荷物を下ろして、自転車を借りて島内を探索する。

牧場とサトウキビ畑と空と海が有りました。

ブーゲンビリアとパパイヤとバナナが有りました。やぎも沢山いました。

面積 7.2 平方キロ、人口 920 人の島で、甘い香りと、ゆっくりとした時間が流れていました。

自転車をゆっくりこいで3時間位で回れる島でした。

島の外れの方には空港も有りました。

フェリーが着く港の他にもう1つ漁港が有りましたが、こちらの港は、珊瑚礁のリーフの間を抜けて狭い水路を通って入らないと行けないので、よそ者のヨットでは入港は無理そうでした。下の写真の様に、赤と青のポールの間を通って左手奥の港に入りますが、この写真は干潮時の物で、満潮時は今見えている干潟は海の中に消えてしまいます。



後に行く久米島も、このようなスタイルの港が多かったです。ヨットで向かうなら、フェリーが着くような大きい港に入る方が良さそうです。

散策を終えて、宿に戻って夕食、3食5千円にしては、刺身、チャンプル、サラダ、山羊汁など沢山の料理で、ビールが進み沖縄での2晩目は、沈没。。。

### 《3日目》

8時起床、朝食後、ジョギングで再度細かく島内の散策をする。

このくらいの大きさの島なら、歩くかジョギングくらいのスピードが丁度良い早さだと感じられました。

小学校の前に、1つだけ信号が有りました。

たぶん島の小学生の教材なんでしょうね。

赤瓦の沖縄特有の古民家もまだまだ生活の場として健在でした。

宿に戻って、そーきそばの昼食を食べて、那覇に向かうフェリーに乗船しました。



夕方、那覇の泊港に戻ってきました。

座間味島の横を通過した時、鯨の遊泳を見ることが出来ました。

1月～3月位までの間は、繁殖の為にこの海域に鯨が集まるのだそうです。

#### 《4日目》



6時半起床、ジョギングの後、朝食を済ませビールを買い込んで、久米島行きフェリー（750トン）に8時半乗船、4時間の船旅、ビールを飲んだり、デッキに出て綺麗な海を見たり、時には鯨が現れたり飽きることは無い、途中、渡名喜島（となきしま）に寄港して12時半、久米島到着。

予約しておいたレンタカーを、引き取って島内散策に出かける、急いで回れば1周1時間位の島面積59平方キロ、



人口9000人）ゆっくり、じっくり見て回る。

フェリーが入る兼城港は、奥に空きスペースが結構有って、ヨットでも入れそうな感じでした。島の東側には、マリンレジャーの基地

となっている泊フィッシャリーナが有りますが、ここはやはり珊瑚礁のリーフの切れ間から、細い水路を通る作りなのでヨットには無理そう。

海岸に有る、奇岩や琉球王朝時代の城跡などを見学しながら、本日の宿が有るイーフビーチに向かう。



〔具志川城跡〕



〔ミーフガー〕

拝むと子宝に恵まれる

久米島には、造り酒屋〔泡盛〕が2件有ります。

わりと良く知られている（久米仙）と家族だけでやっている（久米酒造）です。

どちらも、工場見学と試飲をさせてくれますが、今回は車なので寄らないことにしました。4時頃、民宿黒潮に到着、荷物を下ろして近くの奥武島にある入浴施設〔バーデハウス久米島〕にお風呂に入りに行きました。世界初、100%海洋深層水を使用した温浴施設だそうです。

サウナもあり、ゆっくり浸かって、7時に宿に戻って夕食になりました。

1泊2食5千500円なのに、焼き肉、煮物、刺身、大きな伊勢エビ（五色エビかな？）など、かなりのボリュームがあり、またまた沢山のビールを頂き、沖縄4日目の夜も沈没。。

### 《5日目》

8時起床、すごく綺麗なイーフビーチで、ジョギングをしてシャワーを浴びてから、朝食をとり、もう回る所も尽きたから、レンタカーが邪魔になったので、返却に行く事にした、レンタカー屋の兄ちゃんが、20分位離れた宿まで送ってくれました。

今日から、そのレンタカー屋に就職したと言う兄ちゃんは、那覇の大学を卒業して、島に戻ってきて、サトウキビを刈っていて、農閑期になったからレンタカー屋に就職したそうです。

サトウキビ作りは、植えてしまえばかってに育つらしくあまり手間はかからないそうですが、刈り取りが手作業でかなりの重労働だとの事でした。

島での暮らしもあまり楽では無いと言っていました。

宿に送ってもらってから、次の日の朝の帰りの船まで何もやる事が無くなったので、早めの昼食を取りに近くのそば屋に行きました。



こちらで言うそばとは、沖縄そばの事で、ラーメンとうどんの間の様な麺料理です。

のっている、ソーキ（豚のあばら肉）をつまみに生中を2杯飲んで、とどめのラーメンまで付いているビール好きには、凄く便利な食べ物です。

昼食後、スーパーでビールと乾き物を買ってビーチで、本を読みながらぐびぐびやる事にした。

それしかやる事が無い。

だけど結構幸せ、いやかなり幸せ！！



夕方まで、浜を散歩したり、本を読んだり、ビールを飲んで過ごして、宿に戻りシャワーを浴びて夕食となる、今夜もかなりのボリュームの夕飯で、またもやビールの登場！！

当然の様に今夜も沈没。。。。



## 《6日目》

6時半起床、早めの朝食をいただき、コンビニでビールとつまみを買って、バスにて兼城港のフェリー乗り場に向かう、08:30 出港那覇へと帰港する。

この帰りの船上からも、渡名喜島周辺と座間味島周辺で鯨を見ることが出来ました。

12:30 那覇泊港に着く。

那覇港入港の時に気がついたのですが、那覇空港と泊港の間くらいに、ヨットハーバーが有るようで、数艘のヨットが出入りするのが見えました、しかし車が無かったので、どのようなハーバーなのか確認は出来ませんでした。

泊港から徒歩とモノレールで、本日の宿ホテル法華クラブ那覇のある、おもろまち町に向かう、この町は以前は丘陵地だった所を切り開いて作った町で、何もかもが新しい沖縄らしくない町です。

大きなショッピングセンターや、大手の飲食店等が沢山有って、観光客より地元の人達が集まる町の様です。

ホテルに荷物を預けて、夕方まで時間が有るので、モノレールに再び乗って、首里の町へ出かけました。

何度か訪れた事の有る町ですが、いつもはレンタカーなので、素通りしてしまっていた所を見ようと、3時間位かけてゆっくりと国際通りまで歩くことにしました。

首里城の門前のそば屋で、例の便利なそばとビールをいただき、散策を開始しました。



沖縄旅行定番の首里城です。

中に入るには、入場料が要るので、門だけ見てきました。



金城の石畳です。

今でも生活道路として使っていて、自家用車や配達のトラックが通っています。



首里城近辺の高台から見た、那覇市街地です。



赤瓦のお寺もありました。

こんな所を見ながら、那覇の繁華街、国際通りまで来て公設市場や、土産物屋を見物して、ホテルの有るおもろ町に戻って、大きな居酒屋で沖縄での最後の晚餐となりました。戻り鰹とイカスミチャンプル（何度も沖縄には訪れているけど初めて見た）で、ビールをしこたまいただいて、千鳥足でホテルに戻って沈没。。。最後の夜もやはり沈没。。。

#### 《7日目》

11:55の飛行機なので、ゆっくり目の起床、ジョギングで新都心を散策してみる。名古屋で良く見かけるフランチャイズの店がほとんどある。私たちにしてみれば、沖縄まで来てあまり見たくないしらせる風景だけど、ここにすむ人達にとっては、やはり目新しくもありあって欲しい店なんだろうね。

10時がチェックアウトなので、少し早いけど空港に向かう、カウンターでチェックインすると、使用機材が50分遅れているから、出発も50分遅れるとのこと、ただでさえ早めに来てしまったのに、2時間も待ち時間が出来てしまった。

まだ、昼食には早いし、とりあえずフライドポテトとビールで時間つぶしを始める事に、搭乗前には、完全な酔っぱらいに、着座したとたんに、爆睡して起きたらセントレアでした。

気温20度差の名古屋は寒かったです。

そのまま沖縄に帰りたかったけど、そうもいかずに、とぼとぼと家路につきました。